

平成 29 年 3 月 3 日
総合教育会議資料

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会及びラグビーワールドカップ 2019 に向けた平成 29 年度の取り組みについて

平成 32 年（2020 年）開催の東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会及び平成 31 年（2019 年）開催のラグビーワールドカップ 2019（以下「オリンピック・パラリンピック等国際大会」という）に向けては、平成 27 年（2015 年）10 月より教育委員会に担当職を設置し、庁内連携のもと取り組み方針や行動計画の策定を進めてきたところである。

平成 29 年度（2017 年度）からは、新たに設置する実行委員会によって、スポーツ、文化・教育、環境、健康・福祉、子ども、観光、交流、安全対策などの多岐に渡る取り組みを市民とともに進めていくこととなり、多分野を総合調整する役割が増すこととなる。

このため、平成 29 年度より所管を総合政策部に移管し、以下に掲げる取り組みを中心に幅広い取り組みを進めていく。

1 東京 2020 大会等に向けた平成 29 年度の主な取り組み

平成 29 年度の主な取り組みは以下のとおり。

なお、その他の行動計画に定めた取り組みについては、各部門の個別計画等に基づき着実に進めていくこととしている。

(1) 実行委員会の設置

東京 2020 オリンピック・パラリンピック等国際大会に向けて、市内関係団体と連携して実行委員会を設置する。実行委員会が主体となり、市民の力を活かした取り組みにつなげていく。

(2) ホストタウン事業の推進

ホストタウンとしての機運を高めるための各種啓発事業等を行う。また、武蔵野市と友好都市であるブラショフ市の交流のきっかけとなったブラショフ・フィル・ハーモニー交響楽団を招聘し、公演を行う。

(3) Sports for All イベントの実施

オリンピック・パラリンピック競技等を通じて市のスポーツ

振興に寄与するため、Sports for All イベントを引き続き実施する。

(4) オリンピック・パラリンピック教育の推進

オリンピック・パラリンピック教育推進校として、全市立小中学校においてオリンピック・パラリンピックの歴史や意義を学び、参加国の歴史や文化を学び国際理解を深める取り組みを行う。

(5) 陸上競技場スタンド下の改修

スポーツ振興計画一部改定に基づき、陸上競技場のトイレや車いすエリアの改修、チーム室の設置やロッカールーム、ダッグアウトの改修を行う。バリアフリー化や利用者の利便性向上を通じて「観るスポーツ」を推進する。

(6) 武蔵野アール・ブリュット 2017 の開催

既成の表現法にとらわれずに独自の手法と発想で制作された美術作品（アール・ブリュット）の展示を開催する。実行委員会方式により事業の企画、運営等を行い、平成 29 年（2017 年）7 月 7 日から 10 日にかけて吉祥寺美術館などで作品を展示する。

(7) 市の魅力再発見・発信事業

市民とともに武蔵野市の強みや魅力、海外から見た武蔵野市の良さを再発見し、市民ワークショップの開催や市内関係団体等との協力を通じて、その魅力を国内・国外へ発信していく。

(8) 運動習慣の定着化促進事業

市民の運動習慣の定着に向けたプログラムを推進するための基礎調査を実施する。

担当課 教育部生涯学習スポーツ課オリンピック・パラリンピック担当